

きゅうしゅう

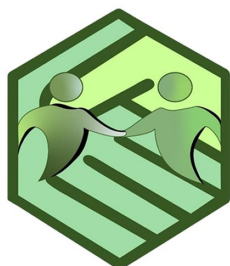
NO.58



写真：西方海岸人形岩（提供：陸上自衛隊川内駐屯地広報班）

目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：陸上自衛隊 川内駐屯地
2. 自治体紹介：鹿児島県 薩摩川内市
3. 業務紹介：管理部 施設補償課
4. インフォメーション：護衛艦引渡式ほか



防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム



写真：陸上自衛隊川内駐屯地航空写真（提供：陸上自衛隊川内駐屯地広報班）



1. 部隊紹介

陸上自衛隊川内駐屯地

駐屯地司令挨拶



第8施設大隊長 兼ねて
川内駐屯地司令
やまわき よしかず
2等陸佐 山脇 仁一

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、第8施設大隊長兼ねて川内駐屯地司令の山脇2佐です。

川内駐屯地は、川内市街地中央を流れる川内川による幾多の災害に見舞われていた市民の長きに亘る熱烈な誘致運動により、昭和60年(1985年)3月、市街地を一望する標高150mの高台に開設されました。

駐屯地には、第8師団を土台から支える第8施設大隊が主力部隊として所在し、各種建設機械を装備し、部内外における土木工事、風水害時の災害派遣等に対処し、整備隊等諸隊とともに、何時如何なる時も行動できるように、日々励んでいます。

また、薩摩川内市の三大祭りである川内川花火大会、川内大綱引及び薩摩川内はんやまつりに積極的に参加して(新型コロナウイルス対策により2年間中止)市民の皆様との絆を深めています。

これからも川内駐屯地は、地域の皆様の信頼と期待に応え、「地域とともに」をモットーに愛される駐屯地を目指して、所属隊員一同、努力してまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

沿革

- 昭和60年 北熊本に所在していた第8施設大隊を基幹とする部隊が川内市(現薩摩川内市)に移駐。(陸上自衛隊としては129番目の駐屯地)
- 62年 川内演習場開設
- 平成 2年 調整池の埋立完了(現在の駐屯地グラウンド)
- 7年 ふる里緑化ゾーン造成(いこいの広場)
- 12年 自衛隊鹿児島地方連絡部(現自衛隊鹿児島地方協力本部)川内援護センター新編
- 13年 生活隊舎完成
- 16年 生活隊舎・整備工場増設
- 17年 第8後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊新設
第8後方支援連隊第1整備大隊火器車両整備中隊川内派遣隊新設
- 20年 第135地区警務隊川内連絡班改編
- 27年 第8施設大隊本部管理中隊渡河器材小隊改編(新装備導入)
第364会計隊川内派遣隊改編
- 30年 第8施設大隊第4中隊改編(廃止)
- 令和 元年 第8後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊改編
第8後方支援連隊第1整備大隊火器車両整備中隊川内派遣隊廃止

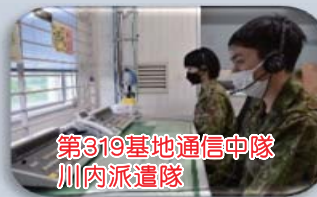
川内駐屯地所在部隊



第8施設大隊



川内駐屯地業務隊



第319基地通信中隊
川内派遣隊



鹿児島地本協力本部
川内援護センター



第8後方支援連隊
第1整備大隊施設整備隊



第364会計隊
川内派遣隊



第135地区警務隊
川内連絡班

訓練

主力部隊である第8施設大隊は、主として、陣地構築、障害構成、障害処理、渡河、交通、建築を行い、上級部隊等を支援します。また、他の駐屯地所属部隊はこれを支援し、施設大隊の任務遂行に寄与しています。



築城訓練



架橋訓練



道路整備



爆破訓練

駐屯地記念行事



記念式典



市中パレード



熊本地震



令和2年7月豪雨

行事(薩摩川内市三大祭り)

薩摩川内市には、三大祭りと言われる大きな祭りがあり、駐屯地からも多くの隊員が支援し、地域と一体となって、この伝統行事に取り組んでいます。

また、大綱引では中心旗を、はんやまつりでは島津義久・豊臣秀吉等の重役を駐屯地司令や業務隊長が任されています。



川内大綱引



薩摩川内はんやまつり



川内川花火大会

地域との交流



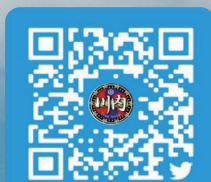
ヘリ体験搭乗



夏休みちびっ子大会



職場体験学習



2. 自治体紹介 (鹿児島県薩摩川内市)

薩摩川内市



甑大橋（こしきおおはし）

上甑島・中甑島と下甑島を結ぶ橋で令和2年8月29日に開通。全長1,533mの県内最長の道路橋は、甑をつなぐ希望の架け橋です。

市長あいさつ



薩摩川内市長
田中 良二

薩摩川内市は、鹿児島県の北西部に位置し、本土区域と甑島区域で構成されています。東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、甑大橋や地形の変化が美しい断崖などを有する甑島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しており、これらの多彩で美しい自然環境は、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園、甑島国定公園に指定され、人々に親しまれております。

また古くからの歴史を伝える史跡や建造物、伝統行事など数多くの文化遺産が各地域で受け継がれる歴史のまちでもあります。

420年以上続く、長さ365m、重さ約7トンの日本一の「川内大綱引」や、恐竜が眠る甑島のある薩摩川内市へ、ぜひ皆様お越しください。

自衛隊との関わり

薩摩川内市には、本土区域に陸上自衛隊川内駐屯地、甑島区域に航空自衛隊下甑島分屯基地が所在しています。

隊員の皆様には、任務の傍ら、本市の総合防災訓練を始め、市内の各種行事やイベントに対し積極的な支援・参加をいただいております。市民と隊員が固い絆で結ばれ、地元部隊として本市になくてはならない存在となっております。





薩摩川内市の豊富な海の幸・山の幸・川の幸から、おすすめの名産品を厳選してご紹介!



こんがり焼いたうなぎの蒲焼。
皮はパリッと、身はふんわりジューシー。
贅沢感あるうなぎで、食卓を華やかにしてみては。



キビナゴの里・甑島! 魚体が大きく身もしっかり。甑島では年間を通して新鮮なキビナゴを食べることができます。



まるごとパクリ。甘くて後味すっきり
のシャインマスカット。贈答品にもぜひ。



脂身の旨味と甘みで大人気の黒豚。
自然の中でのびのび育ち、サツマイモなどを食べているので、さっぱりなお肉に。



市内に7つある焼酎蔵。それぞれ独自の手法で焼酎を作っています。気になる焼酎を取り寄せて、飲み比べを楽しんでください。

~ふるさと納税受付サイト~

魅力たっぷりのお礼の品をご用意しています!
ぜひ「ふるさと納税特設サイト」からお申し込みください。

ふるさと
チョイス



さとふる



楽天
ふるさと納税



観光情報は

ここでチェック!!



3. 業務紹介

施設補償課

○漁業補償

自衛隊や在日米軍が海上で訓練などを行う際は、一部の海域において危険が伴うため、期間を定め漁船の操業を制限又は禁止することがあります。

この間はその海域において漁業を行うことができなくなり、漁業経営上の損失が生じてしまうことから、その損失についての補償を行っています。

★管内水域(令和3年度実績)

自衛隊水域

佐多対空射撃場水域
鹿児島湾水中試験海面
日向灘掃海訓練海面
芦屋沖訓練海面
築城飛行場訓練海面

駐留軍水域

佐世保海軍施設水域
ゴルフ水域
フォックストロット水域
リマ水域
ホテル・ホテル水域ほか8水域

事例紹介 : 芦屋沖訓練海面(空)

制限の目的及び内容

- ・ 搭乗員海上保命能力向上訓練
- ・ 6月20日～8月10日(20日以内)
- ・ 平日の午前8時から午後5時まで
- ・ すべての漁業の操業禁止
- ・ 制限面積: 10.3 km²

★位置図



救難機による救出訓練

パラセール訓練



脱出訓練・救出訓練



救命浮舟による漂流訓練

凡例

自衛隊水域

陸 海 空

駐留軍水域

佐多対空射撃場水域

この他沖縄周辺に
ホテル・ホテル水域ほか8水域

(水域の規模: イメージ)

★管内飛行場

航空機の頻繁な離着陸等により、飛行場周辺の農業に従事している方の作業効率等が落ちてしまいます。

それに伴い農業経営上の損失が生じてしまうことから、その損失についての補償を行っています。

芦屋飛行場

築城飛行場



4. インフォメーション

平成30年度計画護衛艦2番艦「くまの」引渡式・自衛艦旗授与式

令和4年3月22日(火)、岡山県玉野市に所在する三菱重工マリタイムシステムズ株式会社にて、護衛艦「くまの」が海上自衛隊に引き渡され、これに続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長櫻井敦2等海佐の指揮の下、配備先である横須賀に向け出港しました。

同艦は、海上自衛隊護衛艦として初めてガスタービン主機とディーゼル主機を組み合わせた推進方式であるCODAGを採用した平成30年度に計画された「もがみ」型護衛艦の2番艦であり、基準排水量3,900トン、全長132.5メートル、最大幅16メートル、深さ9メートル、速力30ノット以上の最新鋭の護衛艦です。

なお、同艦は、令和元年10月起工、令和2年11月進水、その後装工事(各種機器等の搭載)を行い、海上公試を経て、今般就役したのですが、この間、九州防衛局長崎防衛支局及び中国四国防衛局玉野防衛事務所は、建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の完成に深く関わりました。



▲自衛艦旗授与式



▲護衛艦「くまの」に乗艦する隊員



▲自衛艦旗掲揚



▲出港する護衛艦「くまの」

平成30年度計画護衛艦1番艦「もがみ」引渡式・自衛艦旗授与式

令和4年4月28日(木)、長崎県長崎市に所在する三菱重工株式会社長崎造船所にて、護衛艦「もがみ」が海上自衛隊に引き渡され、これに続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長関健太郎2等海佐の指揮の下、配備先である横須賀に向け出港しました。

同艦は、海上自衛隊護衛艦として初めてガスタービン主機とディーゼル主機を組み合わせた推進方式であるCODAGを採用した平成30年度に計画された「もがみ」型護衛艦の1番艦であり、基準排水量3,900トン、全長132.5メートル、最大幅16メートル、深さ9メートル、速力30ノット以上の最新鋭の護衛艦です。

なお、同艦は「もがみ」型護衛艦の1番艦ですが、工期が計画より遅れ、2番艦「くまの」が先行して就役しています。

同艦は、令和元年10月起工、令和3年3月進水、その後装工事(各種機器等の搭載)、海上公試を経て、今般就役しましたが、この間、九州防衛局長崎防衛支局は、建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の完成に深く関わりました。



▲自衛艦旗授与式



▲護衛艦「もがみ」に乗艦する隊員



▲自衛艦旗掲揚



▲出港する護衛艦「もがみ」

米軍再編に係る嘉手納飛行場から築城基地への訓練移転

令和4年3月22日～25日の間、航空自衛隊築城基地を拠点に米空軍嘉手納飛行場所属のF-15戦闘機6機が参加した日米共同訓練が実施されました。

本訓練は、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減することを目的に実施されており、今回は山口北方沖空域等において戦闘機戦闘訓練等が実施されました。

同訓練の実施に当たり、九州防衛局は3月15日～4月1日の間、職員を派遣し、九州防衛局現地対策本部を航空自衛隊築城基地内に開設するとともに関係自治体等に訓練の情報提供などを行いました。



▲現地対策本部の様子



▲訓練に参加したF-15とF-2

日出生台演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施について

令和4年4月16日～25日の間、陸上自衛隊日出生台演習場において、沖縄県に駐留する米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練が実施されました。

本訓練は、米海兵隊が沖縄県に所在する米軍施設キャンプ・ハンセンにおいて、県道104号線を通り止めにして155ミリりゅう弾砲の実弾射撃訓練を行っていたものですが、平成8年12月の沖縄に関する特別行動委員会（SACO）最終報告により、平成9年度から沖縄県の負担軽減のために本土の5演習場（矢臼別、王城寺原、北富士、東富士及び日出生台の各自衛隊演習場）において分散・実施しているもので、日出生台演習場での訓練は今回で15回目となります。

同訓練の実施に当たり、九州防衛局は4月9日～5月4日の間、現地対策本部を同演習場内に開設し、関係自治体等に対する情報提供、演習場周辺の警備など、訓練の円滑な実施のための支援を行いました。



▲日出生台演習場内に開設した現地対策本部

第41回防衛問題セミナー（無料）



九州防衛局では、防衛政策や自衛隊の活動について広く理解をいただくため、これらをテーマとしたセミナーを開催しています。セミナーの視聴は無料ですが、事前登録が必要です。たくさんの皆様のご視聴をお待ちしています。

テーマ

「離島防衛の中核 水陸機動団 –その任務と活動–」

日程

7月14日(木) 14:00～
8月4日(木) 14:00 視聴可(約90分)

講師

陸上自衛隊 水陸機動団 団長 梨木 信吾 陸将補

申込

8月3日(水)までにQRコード 又は
九州防衛局ホームページから事前登録が必要です。



登録はこちらから



九州防衛局 セミナー



第1部：離島防衛の中核 水陸機動団
–その任務と活動–
第2部：Q&Aセッション
–九州防衛局企画部長から–
講師
水陸機動団長 陸将補 梨木信吾

オンライン開催
事前申込制
参加無料

日時

2022.

7/14(木) 14:00～
YouTube配信

8/4(木) 14:00まで アーカイブ視聴可

申込

QRコードまたは九州防衛局
HPから登録が必要です
【締切 8/3(水)】



九州防衛局 セミナー



主催：防衛省九州防衛局

協力：西部方面総監部、佐世保市、大村市

【お問合せ先】九州防衛局 企画部 地方調整課 地方協力確保室

E-mail: seminar@09su.com TEL: 092-483-8816

※本セミナー運営は、株式会社マルクス・インターナショナルが業務を請け負い実施しております。

前回セミナー参加者の声

前回テーマ「災害から身を守る」（オンライン開催）

- ・ 分かりやすい説明で、我が国の危機管理に対する課題について理解できた。
- ・ 今まで聞いたことのない講演内容でした。
- ・ テレビでは聞けない話が多く、有意義な講演だった。
- ・ オンライン開催であったため、気軽に視聴（参加）できた。



在日米軍従業員募集

日本の「アメリカ」で働きませんか!

「エルモ」が応援!あなたの就活!

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。



※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。

【Twitter】

令和3年4月より、求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報 (エルモ) @LMO_recruit」

Twitter



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ佐世保支部管理課管理係

住所: 〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町3-1

電話: 0956-23-7191

担当施設: 佐世保海軍施設、横瀬貯油所、針尾住宅地区等

<https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索

エルモホームページ



求人情報

本州・九州の基地



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話: (092)483-8832 FAX: (092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
・休日は終日。